

北海道新幹線
新駅整備の検討が
進んでいます

初開催！

新幹線駅を活用した まちづくり 4 駅 合同会議を開催

JRTT は北海道と共催で、7月27日に「新幹線駅を活用したまちづくり 4 駅合同会議」を開催しました。会議には新幹線駅ができる各自治体をはじめ、WEB 参加を含む関係者約 130 人が出席しました。新幹線駅を活用したまちづくりに関して各自治体が一堂に会して行う会議は、今回が初めての試みです。

当日は各自治体の取り組み報告のほか、新幹線各駅のデザインコンセプトおよび駅周辺整備の検討状況などについて積極的に意見が交わされました。会議を通して、関係者間で課題共有や協力・連携を進めることの重要性が認識されたほか、本会議の定期的な開催についての要望が相次ぎました。

今後とも、各自治体および関係機関と積極的にコミュニケーションを取り、信頼関係の構築に努めてまいります。

①当日の会場の様子 ②新八雲(仮称)駅 ③長万部駅 ④倶知安駅 ⑤新小樽(仮称)駅 ⑥竹津英二北海道新幹線建設局長(写真右)へ倶知安駅デザインコンセプトを渡す文字一志倶知安町長



各駅のデザインコンセプトおよび
各自治体の駅周辺整備計画 (イメージ図)



牧場の中にある駅

～二つの海を持つ八雲の大地にたつ、
牧歌的風景に調和したシンプルな駅～



湯けむり香る噴火湾、 人と時代の交差点



羊蹄の四季の恵み

～ふるさとと世界が出会う駅～



浪漫が薫る 温もりと心地よさを感じる駅

～まちの記憶を未来へ～

北海道新幹線 TOPICS

JRTT では、利用者に喜ばれ、便利で使いやすい駅、そして地元へ愛される駅を地域の皆様と協働して作り上げていく基本姿勢のもと、地元自治体にて作成いただいたデザインコンセプトを基に駅的设计を行うこととしています。

2022年2月から7月にかけて、北海道新幹線の札幌延伸によって新幹線駅が誕生する八雲町・長万部町・倶知安町・小樽市の4市町より駅デザインコンセプトを受領しました。

今後は、このデザインコンセプトを基に JRTT で駅のデザイン素案の検討を進め、4市町へ提案していく予定です。

